



令和4年度 施政方針



未来に向かって無限に輝ける鈴鹿市をめざします

市では、令和4年2月市議会定例議会の開会にあたり、市制施行80周年を迎える令和4年度の施政方針を示しました。今回の特集では、「鈴鹿市総合計画2023 後期基本計画」に沿って、市政運営の基本方針を紹介します。

新

型コロナウイルス感染症が社会の脅威となり、早3年目を迎えました。本市におきましても、令和2年度、3年度において、市民の皆さまや事業者の皆さまへの感染症対策、生活支援策、経済対策などを講じてきました。

この間、最優先課題である感染症対策にご協力をいただいている市民の皆さま、事業者の皆さまに感謝申し上げます。

また、ワクチン接種および感染拡大防止に、ご尽力をいただいている鈴鹿市医師会をはじめとした、本市の医療、保健、介護を支える多くの方々に衷心より敬意を表しますとともに、深く感謝を申し上げます。

本年12月1日に、本市は市制施行80周年の節目を迎えます。このたびの80周年では、今だからこそできることを、市民の皆さまと一緒に取り組み、一年を通じて明るい話題を提供

することで、鈴鹿市全体に活気を取り戻すような年にしていきたいと考えています。

そして、この80周年という年を新たな一歩として、これからの新しい時代に「SDGs」、「デジタルトランスフォーメーション」、「カーボンニュートラル」などの新たな考え方と技術を取り入れながら、次の90周年、100周年と未来に向かってさらなる飛躍につなげていきます。



「大切な命と暮らしを守るまち すずか」

- 市南部地域の新たな消防分署と天名分団の施設整備を一体で進めることにより、地域における消防力を強化します。
- 消防団員の処遇を改善するとともに、消防の活動現場における迅速性、確実性を確保するため、通報時の状況を的確に把握できる映像通報システムを導入し、市民の皆さまの不安を和らげ、安心して暮らせるまちづくりを進めます。
- 沿岸部における民間の津波避難ビルの新たな指定を行い、緊急避難場所の整備を図るほか、感染症に対応した避難所の開設・運営ができるよう取り組みを進めます。
- 交通安全施設の維持管理および整備を引き続き進めるとともに、交通安全教育や

啓発活動により、市民の皆さまの交通安全に対する意識を高めることで、交通事故のないまちをめざします。

- 防犯カメラの設置を希望する自治会などへの補助制度を創設し、地域が行う防犯活動を支援することで、さらに事件や犯罪のない、市民の皆さまが安心して暮らすことのできる治安の良いまちをめざします。



設置された防犯カメラ

「子どもの未来を創り 豊かな文化を育むまち すずか」

- 子どもの成長を一元的に把握できる「すずっこファイル」を全ての新生児に配布することで、保護者に寄り添った早期からの支援につなげます。
- 利用者のニーズが高く待機児童の発生が予想される小学校区においては、新たな放課後児童クラブの設置を支援し、待機児童の発生がないように努めます。
- GIGAスクール構想により整備した児童・生徒一人一台パソコンを活用した授業をさらに推進することで、児童・生徒の学力向上はもとより、ICT機器を日常的に活用し、主体的で対話的に深く学ぶことができる次世代の人材育成につなげます。
- ICT教育の推進、部活動の振興、給食費の公会計化など新たな取り組みの推進により、教育活動の一層の充実と働き方改革に努め、学校教育の質の向上に

つなげます。

- AGF鈴鹿陸上競技場の第3種公認更新のための改修工事、石垣池公園市民プールの解体および跡地の整備に着手し、トイレや駐車場などを増設することにより、快適な利用環境を整えることで、スポーツ人口の増加や競技力向上につなげます。



改修工事が行われるAGF鈴鹿陸上競技場

「みんなが輝き 健康で笑顔があふれるまち すずか」

- 医療系大学が所在するという本市の強みを生かして、看護師を志す学生を対象にした奨学金制度を創設し、大学や医療機関と連携を図りながら進めることで、市内の看護師不足の解消と定着化につなげます。
- 多胎児妊婦の健診に対する経済的な負担を軽減するため、検査費用の助成制度や、特別な理由により再度定期予防接種が必要となる方への予防接種費用の助成を開始するなど、必要な医療が安心して受けられる環境の充実に取り組みます。
- 障がい者福祉では、夢や生きがいを持って暮らしていけるように、「すずかハートフルプラン」の全面改定に向けた取り組みを推進します。
- 医療的ケア児の支援体制を強化するため、地域生活支援事業の日中一時支援事業において、新たな費用加算制度を創設します。

- コロナ禍でのフレイル予防として、身体機能や認知機能の維持、向上のための予防プログラムを、サロンや自宅で取り組むことができるよう支援します。



自宅で取り組むフレイル予防

- 多様化する福祉へのニーズや制度の狭間問題などに対し、鈴鹿市社会福祉協議会と一体となって、福祉分野の垣根を超えた包括的な相談支援を行う重層的支援体制の構築に取り組み、地域共生社会の実現をめざします。

「自然と共生し 快適な生活環境をつくるまち すずか」

- 持続可能な循環型社会の形成と温室効果ガスの排出量を全体としてゼロにする2050年カーボンニュートラルの実現に向けた取り組みを推進するため、市全体の温室効果ガス排出量の削減計画、再生可能エネルギーの導入目標などを盛り込んだ、「鈴鹿市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」を策定します。
- 市の事業から排出されるエネルギー起源の二酸化炭素の排出量を削減するため、



カーボンニュートラル社会形成に向けての講演会

新たに地域新電力会社を設立します。

- 汲川原橋徳田線の4車線化に継続して取り組むとともに、鈴鹿四日市道路の整備着手に向けて、平野三日市線、三日市地子町線および玉垣若松線の整備などを新たに進めます。
- 持続可能で利便性の高い地域公共交通ネットワークを構築していくために「鈴鹿市地域公共交通計画」を策定し、この計画に基づき関係者と連携して施策に取り組みます。
- 三重県内で初めて策定した「鈴鹿市優良田園住宅の建設の促進に関する基本方針」の利活用を図るとともに、都市計画の基本方針として、将来都市構造や都市づくりにおける基本理念を示した「鈴鹿市都市マスタープラン」の改定について、市民の皆さまの意見もお聞きしながら作業を進めます。

「活力ある産業が育ち にぎわいと交流が生まれるまち すずか」

- 新名神高速道路へアクセスしやすい交通利便性を生かして、現在、民間主導の土地区画整理組合事業によって工業団地（鈴鹿PAスマートIC樁工業団地（山本町））の造成が進んでいますが、新たな優良企業の誘致に向けて、本市の優位性を広くアピールするとともに、企業の進出意欲や動向を把握するためのアンケートを実施します。
- ものづくり産業支援センターにより、中小企業の困りごとに対する支援、研究開発など



ものづくり産業支援センターによる人材育成研修

の支援に取り組むとともに、人材育成などの研修を行うことで、後継者の育成につなげます。

- 新たに作成した鈴鹿市地産地消推進ロゴマークを活用して情報発信に取り組み、消費者と生産者が相互に理解を深めることにより、地産地消をさらに推進します。



- コロナの影響により実施できていない市民祭については、市制施行80周年記念として、市民の皆さまが参加しやすい内容となるよう、新しい手法の取り組みについて補助することで、市全体で盛り上げます。
- EC（イーシー）サイトでの販売力の強化や新たな商品、サービス、体験など、地域活性化に関わる取り組みを発展させ、本市への関係人口を拡大させるとともに、「ふるさと納税」の寄附の増加にもつなげます。

「市民力、行政力の向上のために」

- 男女共同参画については、拠点である鈴鹿市男女共同参画センターが開設20周年を迎えます。ジェンダー平等を推進するため、本市の拠点施設として、市民団体の皆さまの活動と交流を、より一層支援します。
- 異なる文化的背景を持った方が、互いの違いを認め合い、地域社会の構成員としてともに生活する社会の実現をめざして、多文化共生推進指針の見直しに着手します。
- 市民の皆さまが主役のまちづくりを推進するために、市内28の地域全てで設立された地域づくり協議会への一括交付金を引き続き交付することで、地域の実情や特性を良く知る皆さまがそれぞれの個性を生かして、地域の課題解決と理想の姿の実現に向けて取り組む活動を支援します。
- 無料通信アプリのLINEを活用した新たな手段を構築することで、市政情報や災害情報などを速やかに届けられるよう、情報発信ツールを充実していきます。
- インターネット上の人権侵害に対応するため、モニタリング事業の充実を図り、誹謗中傷や人権侵害の早期発見と管理者への削除要請につなげ、不確実な情報の拡散を防ぐ取り組みを推進します。
- 新たな行政課題に的確に対応できるよう、市職員の行政経営に対する意識を高めるとともに、企画力、情報収集能力などの政策形成能力の向上に取り組みます。



男女問わず理工系への関心を持ってもらうためのイベント「理工チャレンジ(リコチャレ)」

少子化の進展に伴う人口減少やICTの普及により社会の状況が急速に変化する時代ではありますが、本年は市制施行80周年を迎えます。これまでの歴史の中で先人が培ってきたモノを継承し、新たな技術や様式を取り入れ、元気に盛り上げていく一年にしたいと考えています。

一方で、感染の拡大と縮小を繰り返す新型コロナウイルス感染症は、依然として終わりが見えていませんが、さまざまな工夫と挑戦を続け、市民の皆さまお一人お一人の協力を得ながら、市職員の力も結

集してコロナ禍を乗り越える年にしてまいりたいと思います。

未来に向かって無限に輝ける鈴鹿市をめざし、鈴鹿市総合計画2023のあらゆる施策を着実に推進し、市民の皆さまに安心して生活していただけるように、市政運営に対する決断力とリーダーシップを発揮し、力強い行政経営を進めてまいりますので、引き続き、市民の皆さまのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

鈴鹿市長 末松 則子

※この施政方針は概要です。全文は市ホームページ(市長のページ>施政方針)
(<https://www.city.suzuka.lg.jp/mayor/houshin/index.html>)でご覧いただけます。

今回の特集へのご意見・ご感想は総合政策課

☎382-9038 📠382-9040 ✉sogoseisaku@city.suzuka.lg.jp